

網走道路整備事業協組が安全大会

## 慣れを排除し業務遂行

### 無災害達成へ決意新たに



管理業務安全大会を開催した  
写真。会員  
企業から、約五  
十人が出席。無  
事故・無災害で  
の維持業務遂行  
を目指して、決  
意を新たにし  
た。

【網走発】網走工業(株)、芙蓉建設(株)、津別建設(株)など十社で構成する網走道路整備事業協同組合(代表理事・笠谷俊一網走工業(株)社長)は二十四日、美幌商工会議所で公共土木施設維持

谷代表理事があいさつ。昨年の暴風雪について言及し、「組合内での連絡体制や、発注者への報告業務をさらに強化していかなければならない」と強調。「組合員はベテランが多い一方

で、慣れが生じる。そこに気を配りながら、安全面にも配慮して業務を遂行してほしい」と呼びかけた。

続いて、網走建管の中山秀紀事業課長が二十四時間体制で臨む組合員に対し、あらためて深く感謝の意を表明。歩行者の視点に立つなど、様々な視点でパトロールすることを求めた。

このあと、美幌警察署交通課の土屋竹治係長が交通安全講話したほか、建管事業課の松山尚基主査、熊谷稔主査が維持業務における業務要領や注意事項を説明した。

最後に、組合員を代表して近藤丈志氏と福井涼介氏が安全宣言。無事故・無災害で維持業務を遂行することを誓い合った。